

研究課題名

新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理システム（HER-SYS）に登録された患者の疫学像の検討

研究の目的と意義

2023年5月8日時点で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の日本における感染者数は三千万人を、死者は1万人を超えた。新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理システム（HER-SYS）上には、COVID-19陽性者の氏名、年齢（生年月日）、性別などの情報とともに住所や診断日、ワクチン歴、入院歴など様々な情報が登録されており、このデータを用いて解析することで我が国のCOVID-19の社会的、地理的な疫学的特徴を把握することが可能である。

本研究では、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理システム（HER-SYS）に登録されたデータを用いて、COVID-19の感染疫学像を明らかにする。日本全体および外国人の感染者の特徴を比較する。また、地域ごとの感染状況を可視化し、感染拡大に影響を及ぼした要因について考察する。今後の新型コロナウイルス感染症のワクチン接種戦略の考察などのために、既感染者がワクチン接種を受けた際に得られる感染保護効果について検討する。

研究の方法

この研究では、氏名、住所、年齢、性別、発症日あるいは報告日、ワクチン接種歴、重症度、入院歴、死亡転機などのデータを用いる。

外国人における疫学像の把握のためには、登録されている国籍以外にも、記載された漢字・カナ氏名を用いて日本人の姓名を判定し、その補集合として外国人を同定し、居住地域（都道府県）、性別、年齢などで集計して個人が特定できない形式で、その特徴を記述する。また、流行波ごとや地域における空間的なCOVID-19感染症の広がりを解析するために、感染症の発生を市街地毎に集計して、個人が特定されない形式で地図上に記述する。また、最初の感染者発生からの時間や距離および感染者と主要鉄道路線からの距離などの情報を用いて解析を行う。HER-SYSには個人識別番号がないため、氏名、性別、生年月日を統合した準識別子IDを作成し、同一人物の再感染の同定を行い、そのうえで、初感染および再感染のリスクをワクチン接種歴の有無で比較を行う。

解析に必要なデータを準備した後に、準個人識別 ID 以外の個人情報は解析用データから削除する。データの解析を実施する者は、感染症疫学センターに所属する指定されたスタッフのみとする。

研究の期間

承認日より二年

研究結果の公表

解析終了後の研究結果は、集計値や感染者間の距離が使用され、個人が同定されうる情報は含まれない。

研究対象者のうち、研究への情報提供を停止したい個人は、以下の連絡先に問い合わせることにより、自身のデータの研究への情報提供の停止が可能である。ただし、研究に使う個票データの修正、削除には応じるが、公衆衛生目的で収集された元のデータベースからの削除や、国の統計データからの個人の除外は不可能である。また、すでに結果が公表されたのちに、個票データを削除することは不可能である。

研究全体の管理責任者（研究代表者）

国立感染症研究所 感染症疫学センター 神垣 太郎

お問い合わせ先：〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1

国立感染症研究所 感染症疫学センター 第6室

TEL 03-5285-1111